

NPO登録制度・ 地域づくり団体活動補助金制度

【提出・問合せ先】〒798-8061 宇和島市曙町1番地
企画情報課コミュニティ推進係 ☎49-7004
FAX24-1166 ✉gender@city.uwajima.lg.jp

NPO登録制度

ボランティア団体などの活動を支援し、市民と行政による協働のまちづくりを推進するための制度です。登録をすると次のようなメリットがあります。

【登録のメリット】

- ▷地域づくり団体活動補助金の申請資格を取得
- ▷団体のポスター、チラシなどを市の施設へ設置できる
- ▷市が発信する各種情報(国や県からの助成制度や研修会の案内など)を受け取ることができる
- ▷団体のホームページを市のホームページにリンクさせることができる
- ▷市役所ロビー展への参加ができる

【対象】

- ▷ボランティア団体：市内でボランティア活動を行い、市内に住むか通勤、通学しているおおむね5人以上で構成された団体(市内で活力ある地域づくりにつながる活動を行う団体などを含みます)

- ▷NPO法人：特定非営利活動促進法第10条により認証、成立した市内に事務所をおき、活動する団体

【申込方法】 所定の申請書に必要事項を記入し、提出してください。申請様式は、市ホームページに掲載しています。



【市役所ロビー展】

地域づくり団体活動補助金

まちづくりの担い手として重要な立場にあるボランティア団体、地域づくり団体などのさまざまな活動に対して、その事業費の一部を補助します。

【対象】 市NPO登録団体

【補助対象事業】 市内でNPOに登録した団体が主体となって行う地域づくりのための事業で、多くの市民参加が期待でき、次の要件に当てはまる事業

- ▷事業の総額が10万円以上
- ▷ほかの補助金などを受けた事業でないこと
- ▷平成30年度内に事業を実施および完了すること

【補助対象経費】 申請する事業を行うために直接必要とする経費で、次の条件に該当するもの

- ▷謝金(外部講師などの報酬、謝礼金)
- ▷旅費、交通費(外部講師などの交通費、宿泊費)
- ▷消耗品費(事務用品など)
- ▷原材料費(資材、食材など)
- ▷印刷製本費(チラシ、チケットなどの作成)
- ▷使用料、賃借料(会場、機械、車両など) など

【補助対象外経費】

- ▷商品券などの金券の購入代金
- ▷団体の経常的な運営にかかる経費
- ▷事業に密接に関わらない食料費
- ▷備品の購入費用 など

【補助金額】 対象経費の2分の1以内で10万円まで

■申請から決定まで

必要書類に記入し、申請期限までに提出してください。

【必要書類】

- ①宇和島市地域づくり団体活動計画書
- ②団体の今年度の収支予算書(様式不問)
- ③団体の前年度の事業報告書、収支決算書(様式不問)
- ④団体の規約または会則(様式不問)
- ⑤そのほか、市長が必要と認めるもの

※設立後1年未満の団体は、③の書類は除きます。

NPO法人は、所轄庁に提出したものの写しをもって③~⑤の書類に代えることができます。

【審査方法】 宇和島市地域づくり団体活動補助金審査委員会にて審査を行います。

※各団体の担当者には、審査委員会で5分程度の事業の説明および質疑応答をします。審査会の日程は、後日連絡します。

【申請期限】 2月28日(水)

詳しくは、お問い合わせください。



- 地域づくり団体活動補助金の活用事例を紹介します -

■NPO法人 柑橘ソムリエ愛媛さん

平成27年に地元若手農家を中心に団体を結成。宇和島の柑橘を広めるために、各地でイベントを開催しPR活動を行っています。農山漁村または中山間地域の振興を図る活動を展開し、新たな切り口で宇和島の柑橘をPRしています。

■補助金活用事例紹介

「団体を立ち上げた当初は大変助かった」。そう話すのは、代表を務める二宮 新治さん。団体を立ち上げてすぐ、地域づくり活動補助金を申請。ミカン農園で農業体験をしてもらうイベントを開催しました。当時は団体を立ち上げて間もないころだったため、イベントを開催するにも資金が十分にはなかったが、補助金を利用し無事イベントを開催。

また、平成28年度にも補助金を活用し、宇和島の柑橘をPRするイベント「柑橘BAR」を開催。市内の会場を借りて、柑橘を使用したジュースや、カクテルを提供しました。会場使用料や原材料費も補助対象経費として認められるため、特産品をPRするイベントでは、活用しやすかったと話しました。

どちらのイベントも多くの方が参加し、皆さんに宇和島の柑橘を味わってもらいました。



(代表：山下 隆教さん)



■うわじま虹色ツーリズムさん

「宇和島を元気にしたい」を目標に、現在15人で活動中。各種研修やイベントに参加するなど、まちづくりの推進を図る活動を展開しています。都市農山漁村交流事業(グリーンツーリズム)に関するイベントも開催。農業、林業、漁業、自然を生かした体験型観光事業を実施しています。また、ミカン摘み体験や、真珠の取り出し体験など、その時期ならではの体験活動も企画し、楽しく活動しています。

■補助金活用事例紹介

平成28年4月に、「第7回虹色さくらまつり」の開催で地域づくり団体活動補助金を活用。会場となった丸山公園周辺では、この時期満開の桜が見ごろを迎えており、桜の観測に合わせて、地元特産品の販売や和太鼓演奏、フラダンス披露など、さまざまなイベントを実施しました。団体だけの運営では、資金的に多くの催しを企画することは難しく、補助が受けられなければ催しをいくつか断念することも考えていたそうです。広告費、外部講師の謝礼金も補助対象経費として認められるため、イベントの幅も広がり、当日は多くの催しを企画することができました。申請には少し慣れない手続きもあるが、今後も活用を検討していきたいと話していました。